

2022年4月

各 位

公益財団法人

りそなアジア・オセアニア財団

助成公募のご案内

拝啓 陽春の候、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より、
弊財団活動につきましてご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本年度も下記2種類の助成プログラムを実施いたしますので、ご案内さ
せていただきます。

アジア・オセアニア研究助成（調査研究、国際学術交流、出版）

【応募期間2022年5月16日～2022年7月29日】

りそな環境助成

【応募期間2022年5月16日～2022年8月31日】

是非ニーズのある方へお知らせ頂きますとともに、貴組織・団体のホームペー
ジやメール等にて幅広くご案内頂ければ幸いです。なお応募要項は、応募書類と
ともに弊財団ホームページへも掲載しております。

末筆ではございますが、皆さまの益々のご健勝とご発展をお祈り申し上げます。

敬具

※本件に関するご質問、送付先の変更等がございましたら、下記までご連絡願います。

〒541-0051 大阪市中央区備後町2-1-8 備後町野村ビル

TEL : 06-6203-9481 E-mail: info@resona-ao.or.jp (担当: 武部・杉浦)



RESONA

公益財団法人

りそなアジア・オセアニア財団

The Resona Foundation for Asia and Oceania

2023年度 アジア・オセアニア研究助成

調査研究/国際学術交流/出版

応募要項

当財団は、アジア・オセアニア諸国の人々との国際交流活動を通して相互理解と発展に繋げ、ひいては21世紀の世界の安定と繁栄に寄与する目的で設立されました。21世紀に入り世界は一段と経済発展を遂げましたが、その陰で深刻な社会分断が進み、直近は気候変動、感染症蔓延、武力侵攻など社会の根底を覆す事態に直面し、残念ながら国際社会は非常事態に陥っています。

このような国際社会の情勢を鑑みると、アジア・オセアニア地域研究の重要性は今まで以上に高まっていると考えます。財団は、アジア・オセアニア研究者を数多く育てることを目指し、設立当初より30年以上に亘りこの助成を続けています。いまコロナで厳しい研究環境ですが、別の意味でこの貴重な時期を糧にする強さを身に付けて欲しいと願っています。可能な限り臨機応変に支援いたします。研究内容では、従来研究の延長線上ではなく、新たな考え方、手法、他領域の研究アプローチを加えたりして、人々を「共鳴させる」研究をしていただきたいと思います。「りそな」はラテン語で「共鳴する」という意味があります。人々の共鳴を得ることができれば、今のような事態に陥らないのではと思うのです。コロナなど直近の事象から出てきた新たな題材へも、積極的にチャレンジいただきたいと思います。

財団設立の趣旨からも、当事業の意義は益々深まったと考えます。日本は人口減少が進み、アジア・オセアニア地域の人々と支え合って暮らしていかなければなりません。しかしながら日本のダイバシティに対する評価は極めて低い結果が出ており、その課題を克服していく必要があります。皆さんの研究が広がることで、日本のダイバシティが進み、世界の安全・平和に繋がっていくことを望んでいます。

応募期間

2022年5月16日～2022年7月29日(必着)



公益財団法人

りそなアジア・オセアニア財団

2023年度 りそな環境助成 ～自然と人とのつながりを求めて～

応募要項

応募期間 2022年5月16日～2022年8月31日（必着）



「りそな(RESONA)」は、ラテン語で「共鳴する」という意味をもち、地域(Regional)の人々と共鳴して行動するというアジェンダが込められた造語です。そこへ財団は新たに「つながり(RE:relation)」「社会(SO:social)」「自然(NA:nature)」の意味を加え、「りそな環境助成」と名付けてアジア・オセアニア地域における事業活動を募集します。「地域の人々が自然(Nature)と繋がり(Relation)共生する(Socialize)」そして「地域(Regional)の人々と共鳴(Resona)する」活動を、財団と共にアジア・オセアニア地域へ広げていきましょう。



公益財団法人
りそなアジア・オセアニア財団